

新型コロナウイルス感染症の患者の発生について

本日4月8日(水)、県保健環境センターの検査により、新型コロナウイルス感染症の患者が1例確認されました。

この患者は、感染が疑われたため、本日、帰国者・接触者外来において検体採取し、上記センターにおいて検査が実施されたものです。

新型コロナウイルス感染症の患者の発生は県内21例目です。

本件については、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を行っています。

【患者概要】

(1) 年齢：40歳代

(2) 性別：男性

(3) 居住地：東広島市

(4) 職業：会社員

(5) 症状・経過：

4月2日(木) 発熱(37.7℃)、味覚・嗅覚障害

4月5日(日) 発熱(38.5℃)、咳、咽頭痛出現

4月6日(月) 症状継続のため、医療機関(県内)受診。

4月7日(火) 症状継続のため、帰国者接触者外来において検体採取

4月8日(水) PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性
感染症指定医療機関へ入院予定

(6) 行動歴

4月1日(水)まで勤務

通勤は自家用車を利用

海外渡航歴なし

週末は大阪府に滞在(4月1日以降の滞在なし)

外出時は常にマスクを着用

(7) 同居家族：なし

【県民の皆様へ】

○日常生活では手洗いや咳エチケットを徹底し、できるだけ人混みの多い場所や換気の悪い場所を避ける(3密(密閉、密集、密接)を避ける)、など、より一層注意していただくようお願いいたします。

○風邪の症状が見られるときは学校や会社を休み、37.5℃以上の発熱が4日以上(高齢者、基礎疾患等がある方は2日程度)続いた場合や、強いだるさや息苦しさがある場合には、必ず最寄りの相談窓口に連絡し、その指示に従っていただくようお願いいたします。

お 願 い

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、プライバシー保護及び風評被害について格段の御配慮をお願いいたします。